

ディプロマポリシー

一級自動車整備科、二級自動車整備科自動車整備士コース、並びに二級自動車整備科二輪自動車整備士コースにおける具体的な学修成果や学生が身に付けるべき資質・能力（ディプロマポリシー）は、次の通りである。

一級自動車整備科

一級自動車整備科は、自動車工学的な専門知識や従来の自動車整備技術に加え、日々進化する先進技術に対応するため、高度な IT 技術や電子制御を修得するとともに、マネジメント力、観察力、考察力の高い自動車整備士を育成することを目標とする。この目標を達成するために、修業年限を4年制の一貫教育とした体系的な教育課程を編成している。3年次進級条件として二級自動車整備士資格（ガソリン自動車及びジーゼル自動車）の取得を義務付け、さらに、自動車の高度整備技術を修得するために、国土交通省一種養成施設の一級自動車整備士養成課程に規定される学科、実習及び実務実習を課している。実務実習では、自動車分解整備事業の認証を受けた事業場での体験実習（200時間以上）も必須とする。また、先進技術への対応として、パワーエレクトロニクス、モータ制御等、そして、組織人としての社会人基礎力向上を目的に、ビジネスマナー、経営学、マーケティング等の必修科目を設定している。

これらの定められた教育時間のすべてを履修し学科及び実技試験に合格し、以下の項目に挙げる能力を身につけた者に対して高度専門士（工業専門課程）の称号を授与する。

- ・自動車を構成する各装置の制御システムについての基礎・原理を理解している。
- ・高難度整備に必要な整備機器（スキャンツール等）より得られる情報を基にした理論的な高難度整備技術を修得している。
- ・事業場での体験実習を通じて実践的課題を発見し、その課題への解決能力を身に付けている。
- ・自動車業界全体を俯瞰することのできる知識・能力を身に付けるとともに、サービス産業従事者としてのマネジメント能力を身に付けている。

二級自動車整備科 自動車整備士コース

二級自動車整備科 自動車整備士コースは、優れた二級自動車整備士を育成するために、自動車工学的な専門知識や技術、技能を修得することを教育目標とする。この目標を達成するために、国土交通省の一種養成施設の二級自動車整備士養成課程の教育科目である自動車工学、自動車整備、整備機器、自動車検査、自動車法規などの講義科目、また、これらの教育科目の内容をより深く理解し自動車の整備作業を実践するためのエンジン・シャシ・電装などの実習、社会人としての教養を身につけるための社会教養学を課している。さらに、文部科学大臣認定の職業実践専門課程として、企業等と連携した実習も課している。

これらの定められた教育時間数のすべてを履修して学科試験及び実技試験に合格し、以下の項目に挙げる能力を身に付けた学生に対して専門士（工業専門課程）の称号を授与する。

- ・自動車関連分野の基礎・原理を体系的に理解している。
- ・整備業務に必要な機器やシステムの構造、動作原理を理解している。
- ・実習を通じて課題を発見し、その課題への解決能力を身に付けている。
- ・自動車技術の進展に対応し、自主的・継続的に学習できる。
- ・周囲とコミュニケーションを取りながら、自動車整備分野と社会の関わりについての考えを有している。

二級自動車整備科 二輪自動車整備士コース

二級自動車整備科 二輪自動車整備士コースは、優れた二級二輪自動車整備士を育成するために、自動車工学的な専門知識や技術、技能を修得することを教育目標とする。この目標を達成するために、国土交通省一種養成施設の二級二輪自動車整備士養成課程に規定される学科、実習を課している。また、社会人としてふさわしい教養を身につけた整備士養成を目指し、社会教養学を課している。さらに、文部科学大臣認定の職業実践専門課程として、企業、自動車学校等と連携した実習も課している。

これらの定められた教育時間数のすべてを履修して学科及び実技試験に合格し、以下の項目に挙げる能力を身に付けた学生に対して専門士（工業専門課程）の称号を授与する。

- ・二輪自動車関連分野の基礎・原理を体系的に理解している。
- ・二輪自動車整備業務に必要な機器やシステムの構造、動作原理を理解している。
- ・実習を通じて課題を発見し、その課題への解決能力を身に付けている。
- ・二輪自動車技術の進展に対応し、自主的・継続的に学習できる。
- ・周囲とコミュニケーションを行いながら、自動車整備分野と社会の関わりについての考えを有している。